

電気の無い夜には

みなさんこんにちは。

まずは、このたびの北海道胆振東部地震によりお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様に対し謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。地震から今日でちょうど一か月たちますが、いまだ自宅に帰ることもできず避難所で生活されている方が 450 名以上にのぼるとのこと。被災地の一日も早い復旧と、被災された皆様が平穏な日々を取り戻せるよう心よりお祈りいたします。

地震を知ったのはこちらの時間で午前 6:00 (日本時間 8:30)。実家の両親が心配で慌てて連絡したのですが、全くの音信不通。それもそのはず。私が一生懸命連絡をいていたのは連絡用に実家に置いてきた iPad の LINE Wi-fi 接続の機械だったので、停電の影響でルーターが止まり通信できなくなっていたのです。そのことに気づき、国際電話で実家の固定電話に電話をして安否確認できました。わずか 10 分程度の出来事ではあったのですが、本当に肝を冷やしました。海外で生活するということは、こういう事態もしっかり考えておかねばならないんだなと深く反省した所です。その後、私の友人や同僚にも連絡を入れ、みんな無事だったことを聞きました。本当に良かったです。この時たくさんの方に聞いた話の中で一番難儀したのが『電気がない』ということでした。

実は私の住むヤンゴンはかなり頻繁に『停電』してしまう街です。その理由として最も大きなものは『電力不足』。こちらはそろそろ雨期が明けようかという時期に差し掛かり、夜でもむっとした厚さの日もあります。そうすると夜でも各家庭のエアコンが一斉に稼働し…ということをしていると突然停電になってしまいます。復旧の見通しなどはまるでなし。10 分ほどで電気が復旧することもあります。今まで最長で 20 時間停電していたこともありました。この停電が夜中にあると最悪です。窓を開けても閉めてもうだる暑さの中、眠るに眠れない夜を過ごすこととなります。



そうになってしまうととても大変なので、当然備えが必要になります。我が家の対策としては充電式の機材を多数用意しています。ライトなどはもちろんですが、扇風機も充電式の物を使っています (USB で携帯の充電も可能！)。そして、緊急連絡が取れなくなると困るのでモバイルバッテリーも高性能のものを購入。こちらでは日本の半値ほどで買うことができます。そして最後に『無停電電源装置』。停電した瞬間にバッテリーから電気が流れる仕組みになっているのですが…使用されているのは明らかにトラックのバッテリー。容量もそんなに大きくないので、ルーターを置いている一室だけにしか給電できません。(当然エアコンなどは使えません)。ちなみに他の家はどうなっているかという…実はこのような『発電機』をつけている家やコンドミニアムが多いです。写真は私のコンド (全部で3棟) の発電機なのですが、この台数では全家庭に給電することは当然できなく、エレベーターや防犯装置にのみ使われています。しかもこの発電機は2時間稼働させると同じくらい休ませねばならず、真っ暗な階段を 10 階の自宅まで登ったことが数回あります。



そんな生活ではありますが、停電した夜にヤンゴンの星空を眺めると、何ともいわれぬ美しさです。困った状況下でもそれを受け入れ、視点を転じプラスの面を見つける。そういう姿勢って大事なのではないかと、こちらで暮らして感じるところです。

それではまた来月、こちらの暮らしを報告します。

